

ホテルの生育環境整備により、**偕楽園の魅力を上**

— 偕楽園 月池周辺におけるホテル再生事業 —

事業の目的

- ◆ 偕楽園は梅や萩の季節に入園者が多いが、**夏季など一年を通した誘客が課題**
 - ◆ 偕楽園周辺のホテルは、50年前には多く見られたが、**都市化とともに減少**
- ➡ **ホテルの再生に取り組み、夏季における偕楽園の新たな魅力を創出!**



事業の概要

【ホテル再生への課題】

- ◆ 事業箇所は、以前ホテルが生息していた**月池周辺の蛭谷を選定**
- ◆ 現在の蛭谷は、「**ホテル生育に必要な環境**」が不足



- ・ 幼虫、餌の生息に必要な**水路、池**
- ・ 地中に潜ってサナギになるための**畔**
- ・ 卵を産み落とすための**苔**
- ・ 羽化や交尾、幼虫が隠れる場の**水草**
- ・ 幼虫の餌となる**貝類**

➡ **不足する環境を補う整備が必要**



【ホテル生育に必要な環境づくり (R5 冬～)】

- ◆ 「専門家からの指導」「市民団体の蛭再生活動への職員参加」⇒ 畔づくり、苔・水草の移植等の**環境づくりのノウハウ**を取得
- ◆ 蛭谷にて**環境整備活動を定期的に実施** (春、秋)
 - ・ **水路、池、畔**を整備、**湿った苔・水草**を移植
 - ・ 幼虫餌となる**カワニナ、タニシ**を放虫
 - ・ 繁殖のため**ホテルの成虫**を放虫、放卵



【偕楽園への誘客に向けた取組】

- ◆ 蛭鑑賞スポットとして**認知度向上**が必要
- ⇒ **鑑賞スポットとしての演出**
- ⇒ **SNSにてホテル鑑賞案内を発信**



提灯を活用した演出



SNSでの発信

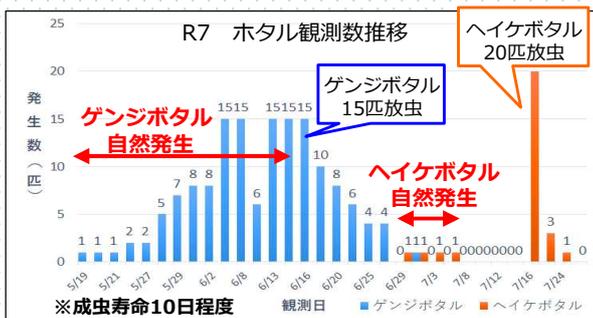
SNSの詳細はこちらから ▶



事業の効果

◆ R7に初めて**ホテルの自然発生・飛翔を確認!**

全体では30~40匹程度のホテルが自然発生
事業開始から約1年で**ホテルが生育できる環境へと変化**



ゲンジボタルの飛翔



ホテルを鑑賞する来園者

【専門家の声】

- ・ **ホテル再生の環境整備のモデルケースになる!**
- ・ **ホテル定着へ向けて環境整備活動の継続が必要!**



- ◆ 案内やSNSの情報発信により、**多くの鑑賞者が来園!**
- ホテル放虫のSNS投稿は**閲覧数27,000回超!** ⇒ **平均の3倍以上!**



【来園者の声】

「SNSを見て家族でホテル鑑賞に来た」
「ホテルを初めて見るのができて嬉しい」と**好評**

ホテル鑑賞スポットとして
夏季の新たなにぎわいの場となり、
偕楽園の魅力が向上!!